

はじめに

アメリカにある世界最大の非営利テスト開発機関である ETS (= Educational Testing Service) が制作する TOEIC (= Test of English for International Communication) が 2006 年 5 月より新しく改訂されてから、2 年近くが経ちました。現在、世界約 60 カ国で実施され、年間約 450 万人が受験しているという TOEIC テストは国際的に評価の高いテストで、英語によるコミュニケーション能力を幅広くチェックしています。また、「発信型コミュニケーション」の必要性が叫ばれる現在、TOEIC スピーキング・ライティングテストも開発され、実施されています。英語コミュニケーションの重要性が TOEIC テストの進化を目の当たりにして、再確認できるという状況です。

大学英語教育の現場でも、TOEIC テストのスコア向上を重視し、TOEIC 対策を中心とした教養英語の割合が増えてきました。TOEIC 関連の出版物が全国の書店に所狭しと並べられている状況に加え、大学の授業で用いる英語テキストも、TOEIC 関連が主流になっています。ところが、教えやすく (= teacher-friendly)、学びやすい (= student-friendly) テキストは数少ないのが現状です。本書はその点を考慮し、教師が使いやすく、学生にとって分かりやすい TOEIC 攻略テキストを目指して編纂されました。

本書は、ご好評いただいた All About the TOEIC[®] Test の全面改訂版です。全ての問題を入れ替えて、新 TOEIC に対応するよう編集していますが、構成や問題形式は All About the TOEIC[®] Test を踏襲しています。これまでのデータから、このテキストの編集方針が、TOEIC スコアアップに対して非常に効果的で効率的であったことが証明されているからです。

本書は、全部で 22 章から構成され、最初の 8 章の基礎編で基礎的な問題を扱い、TOEIC 対策の助走段階を着実に歩めるようになっています。その後、第 1 回の実力チェック問題 (第 9 章) で実力向上を確認できます。

第 10 章から第 21 章は応用編として、やや難しい問題を組み込みつつ、問題に慣れることができるよう工夫されています。最後の章 (第 22 章) には第 2 回実力チェック問題があり、実力の最終確認ができるようになっています。


あえて 1 章に全ての Part の問題を入れないという方針と、段階的学習 (STEP 1 から STEP 3 までの 3 段階) のシステムで、無理のない学習ができるようになっています。

本書をしっかりと学習することで、TOEIC スコアの向上のみならず、本物の英語力の涵養に少しでも寄与できれば、著者としてこれに勝る喜びはありません。本書の執筆については、リスニングセクション (Part 1 ~ Part 4) を嶋田邦子が、リーディングセクションの Part 5 および Part 6 を松村優子が、Part 7 を Daniel Aronoff が担当し、全体の監修を石井隆之が行いました。編集面では金星堂の皆さんに大変お世話になり、心から感謝の意を表明したいと思います。

著 者

本書の8大特長

1. 初めてTOEICの問題に取り組む学生はもちろん、ある程度のスコアのある学生にとっても、自然な流れの中で、実践的な英語力が身に付くように工夫された練習問題が用意されています。各Partの特徴を捉え、単なるTOEICの問題形式だけではなく、必要に応じ、楽しく効果的な練習問題の形式を取り入れています。
2. 各章に、リスニングセクション、リーディングセクション（語彙、語法、文法問題も含む）を2ページずつ配置し、全体を通じてバランスよくリスニング、リーディングの実力を養成できるように編集されています。
3. 各章のリスニング対策とリーディング対策にはそれぞれテーマが設定され、問題がジャンル別に編纂されています。TOEICに必要なスキル、ストラテジーの習得が具体的目標として掲げられています。
4. リスニング、リーディングともに、3段階に分かれた構成となっており、ウォームアップ問題から、実際の試験を意識した問題へと段階を追って学習できるように編まれています。
5. リスニング、リーディング両部門の最後のSTEP 3は、本番の新TOEICに準拠した問題となっており、実際に出題されるパターンを把握できるようになっています。
6. Unit 1～Unit 8まではTOEICの問題形式に慣れるための「基礎問題」、Unit 10～Unit 21まではより高度で実践的な「応用問題」となっており、徐々に難易度の高い問題に取り組むことができます。
7. Practice Test が2つあり、Unit 9ではTOEICの練習問題に一通り慣れたところでの実力チェック、最後のUnit 22では本書の練習問題を完了した後の総仕上げとしての実力チェックを行うことができます。
8. 各章に、スペースに応じ、1つまたは2つのTips on your studyというコラムを設け、出題傾向、注意事項、試験対策法、学習のヒントやアドバイスはもちろん、注意すべき語法、一歩進んだ文法事項などにも触れ、TOEICのみならず、英語学習全般にも役立つ情報を提供しています。

 CD 02 : self-study audio CD (Unit 9, 22を除くユニットを収録)

 CD1-02 : class audio CD (全ユニットを収録)

新TOEICの問題形式と問題数

Section	Part	日本語パート名	Name of the Part	問題数
リスニング 45分	1	写真描写問題 (4 択) 正しい描写を選ぶ	Photos	10
	2	応答問題 (3 択) 正しい応答を選ぶ	Question-Response	30
	3	会話問題 (4 択) 設問に対する正しい答えを選ぶ	Conversations 全部で10会話, 会話1つにつき, 3設問	(10×3) 30
	4	説明文問題 (4 択) 設問に対する正しい答えを選ぶ	Short Talks 全部で10説明文, 説明文 1つにつき, 3設問	(10×3) 30
リーディング 75分	5	短文穴埋め問題 (4 択) 空欄に当てはまるものを選ぶ	Incomplete Sentences	40
	6	長文穴埋め問題 (4 択) 空欄に当てはまるものを選ぶ	Cloze Passages Passageは3つで, 1つのPassageにつき4設問	(4×3) 12
	7	読解問題 (4 択) 1つ, または2つの文書に関する 設問に対する正しい答えを選 ぶ	Reading Comprehension ・ Single Passage (SP) ・ Double Passage (DP) DPは4つで, DP 1つにつき5設問	28 (4×5) 20

※1. 公開テストは2006年5月より, IPテストは2007年度より実施。

※2. 変更点は, 以下の通り。

- (1) 写真描写問題の問題数が20問から10問に減る。
- (2) 会話問題と説明文問題における設問が読まれる。
- (3) 会話問題はABAB形式を主流として, 少し長めになる。
- (4) 会話問題において, 会話1つに対して3つの設問がある。
- (5) 説明文問題の設問数が20問から30問に増える。
- (6) Part 5が短文穴埋め問題という名称になる。(文法より語彙・語法を重視)
- (7) Part 6の誤文訂正問題が長文穴埋め問題に変わる。
- (8) Part 7の読解問題に2つの文書について設問を施す問題が追加される。
- (9) Part 6は20問から12問に減り, Part 7は40問から48問に増える。
- (10) リスニングはアメリカ英語のみならず, イギリス・カナダ・オーストラリア・ニュージーランドの発音も訛りが強くない状態で導入される。

補足: Part名表記も, 従来のPart I, II, III...ではなく, Part 1, 2, 3...に変更された。